

PET-CT 検査説明確認書及び承諾書

(主治医の先生へ：以下の内容について患者さんへの説明をお願いします)

この説明確認書及び承諾書への記載がない場合は PET-CT 検査を行えませんのでご注意ください。

検査予定日： 年 月 日

検査の注意事項について

- 検査 4 時間前から絶食にしてください。水分は可能ですが、水、お茶のみにしてください。糖分の入った飲み物（ジュース類）や牛乳は禁止です。また、飴やガムも禁止です。
- 糖尿病のある方は、検査 5 時間前から検査終了まで糖尿病薬やインシュリン投与は禁止になります。
- 空腹時血糖値 200mg/dl 以上では、原則として検査は行えません。
- 心臓ペースメーカー、埋め込み型除細動器（ICD か CRT-D）を装着している方は、その手帳をご持参いただくと共に次の点にご注意ください。InSync、Thera-i のペースメーカー、または ICD か CRT-D を装着の方の場合は、主治医およびメーカー担当者の立会いが必要となります。メーカー名、型番が不明な場合は検査を行えません。
- 検査前日から検査終了時まで激しい運動は可能な限り行わないで下さい。
- 妊娠もしくはその可能性のある方は、検査禁止です。また、授乳婦も原則として検査は行えません。
- 検査終了当日は、乳幼児や妊婦との接触を控えてください。
- 検査前 1 週間はバリウムを使用した検査を受けないようにお願いします。
- 検査前 3 日間はガストログラフィンを使用した検査を受けないようにお願いします。
- これらの事項が守られないときは、検査が行えない場合がありますのでご注意ください。

検査について

- 検査では、PET 検査薬（ ^{18}F -FDG というブドウ糖類似体）である放射性同位元素を静脈注射した待機室で 1 時間安静にし PET-CT 装置で撮影します。さらに 30 分後に、もう一度撮影します。撮影時間はそれぞれ 30 分程度です。検査時間は全体で約 3 時間かかります。その間は検査室から外に出られません。

検査の安全性と危険性について

- 検査に用いられる ^{18}F -FDG という検査薬は、2007 年度の日本アイソトープ協会の調査では 8 万人に 1 人の割合で何らかの副作用（気分不良、発熱、嘔吐、血圧低下 等）が発生したと報告がされています。万が一、副作用が発生した場合は担当医師等が適切に対処いたします。
- 1 回の PET 検査薬投与による被ばく量は 3~6mSv 程度です。また検査に使用する CT による被ばく量は 8~20mSv 程度（4~10mSv 程度を 2 回）です。合計では 11~26mSv 程度となります。むやみに連続して何度も行うようなことをしなければ、医学的に問題となる可能性はきわめて低いと考えられます。被ばくによる不利益より、検査により得られる情報の有益性の方が高いといえます。（※被ばく量の値は体重が 40~80kg の患者さんでの目安です。）

監視カメラについて

- 検査中、監視カメラを用いて検査の進捗状況把握や患者さんの案内を行っています。監視カメラの画像を診療以外の目的に使用することはありませんのでご理解ください。

患者さんへの説明確認書

(主治医の先生の直筆署名をお願いします)

大分大学医学部附属病院長 殿

PET-CT 検査において、その利点と起こり得る副作用および被ばく量について
患者（ ）さんに十分説明いたしました。

主治医（担当医）氏名 _____
年 月 日

承諾書

(患者さん本人（代諾者）の直筆署名をお願いします)

大分大学医学部附属病院長 殿

主治医からの説明により、PET-CT 検査の注意事項、起こり得る副作用および被ばく量を理解した上で、PET-CT 検査を行うことを承諾いたします。

なお、実施中に緊急の処置を行う必要が生じた場合には、適宜処置されることについても承諾します。

本人・代諾者（患者さんとの関係： ）氏名 _____
平成 年 月 日

(主治医の先生へ：この説明確認書・承諾書は貴院内のカルテにコピーを保存してください)